

各 位

リバーエレクトック株式会社
山梨県韮崎市富士見ヶ丘2-1-11
代表取締役社長 萩原 義久
(コード:6666 東証スタンダード)

リバーエレクトック、文部科学省 ARIM 「秀でた利用成果」最優秀賞受賞

- 革新的な超低ジッタ 1GHz KoT カット OPAW 水晶振動子が最高評価 -

リバーエレクトック株式会社は、文部科学省が主催するマテリアル先端リサーチインフラ (ARIM: Advanced Research Infrastructure for Materials and Nanotechnology in Japan) の令和6年度「秀でた利用成果」の、最高位である最優秀賞に輝きました。これは、先日受賞した優秀賞 (2024年11月12日公表: 文部科学省 ARIM の令和6年度『秀でた利用成果』優秀賞を受賞) の中から、1月29日の国際ナノテクノロジー総合展・技術会議において最も高い評価を獲得した受賞です。



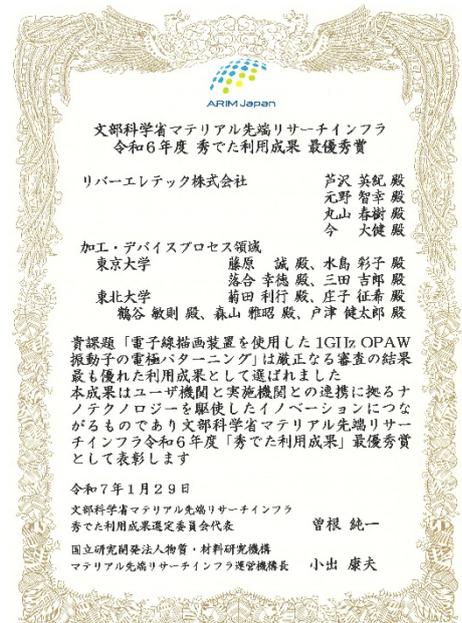
実施機関担当 東京大学 三田教授 (写真右)
東北大学 戸津教授 (写真左)

近年、通信の高速・大容量化に伴い、ジッタ・位相雑音性能を重要視するユーザーが増加しています。受賞課題「電子線描画装置を使用した1GHz OPAW 振動子の電極パターニング」は、この次世代通信技術における高周波数帯域の要求に対応すべく、革新的な KoT カット OPAW 振動素子の開発を目指しました。

本プロジェクトでは、技術課題であった水晶ウェハ上への高精度な電極パターニングを、東京大学や東北大学との協業により、最先端の電子線描画装置を用いて成功させました。KoT カット OPAW 水晶製品は、高速

通信ネットワークの構築、大規模データセンターにおける高性能コンピューティング、さらには人工知能や量子コンピュータのような先端技術の基盤として、幅広い分野での活用が期待されています。

このたびの最優秀賞受賞を励みに、リバーエレクトックは未来の通信とコンピューティングの新たな地平を切り開いていくことをお約束いたします。



国際ナノテクノロジー総合展・技術会議でリバーエレクトックの受賞課題が出展 (ブース番号 4W-10) しています。

(東京ビックサイト 2025.1.29~31) [【https://www.nanotechexpo.jp/】](https://www.nanotechexpo.jp/)

以上

本件に関するお問い合わせ **【報道関係窓口】**

リバーエレクトック株式会社 <https://www.river-ele.co.jp/>

総務部経営企画課 TEL. 0551-20-1277 FAX. 0551-20-1283